令和７年度　いわき市立久之浜第一小学校経営・運営ビジョン

《第７次福島県総合教育計画（令和４年度～）》
【福島県で育成したい人間像】
急激な社会の変化の中で、自分の人生を切り拓くたくましさを持ち、多様な個性をいかし、対話と協働を通して、社会や地域を創造することができる人
・自己と向き合う
・他者と向き合う
・社会と向き合う
⇒ ・「福島ならでは」の教育の推進
・SDGｓの視点

《未来をつくるいわきの学校教育ABCプラン》
夢に向かってチャレンジする子どもを育みます。
A：様々な体験活動・学習支援活動を推進します。
B：教育の「土台」の部分を充実し、学力の向上を図ります。
C：子どもたちの命を守る取組を充実します。

教　育　目　標
◎自ら考える子ども・思いやりのある子ども・たくましい子ども

《教師の思い》
・自ら気づき、考える学びの実現
・自分の思いを表現できる力の育成
・自分の健康と体力の自覚と向上
・震災からの復興と心のケア

《教育課題》
・基礎的な知識･技能の確実な習得と活用力の向上
・思いやりや感謝の心の育成と自己肯定感の育成
・肥満傾向の解消と運動能力の向上
・福島、いわき、久之浜の復興を担う人材の育成

理想は高く、心はひろく！ 夢に向かって“のびゆく われら”

めざす学校	◎一人ひとりが夢を持ち、学び合える学校 ◎一人ひとりの学力や個性を伸ばし、いのち輝かせる学校 ◎子どもたちの学びが地域に届き、地域とともにある学校
めざす子ども	○自分の考えを表現できる子ども ○やさしく心豊かな子ども ○心身ともに健康な子ども
努力目標	低：話をよく聞いて、進んで学習に取り組むことができる。 中：自分の考えを持ち、課題解決に取り組むことができる。 高：自ら課題を持ち、学び合い、見通しを持ち解決できる。

《めざす教師の姿》
・子どもとともに　・保護者とともに　・地域とともに　・仲間とともに

《重点実践事項》

【確かな学力】学習習慣と確かな学力の定着に努めます。
① 「主体的･対話的で深い学び」を目指した授業の改善･充実
・現職教育を核とした授業研究による教師の指導力向上
・授業スタンダードを活用した継続的な授業実践
② 児童の実態把握と個に応じた指導の工夫
・ICT機器を活用した個別最適化学習の推進
・全国及びふくしま学力･学習状況調査やＮＲＴ等の結果の活用
・ＴＴ（チーム･ティーチング）や習熟度別学習の実施
③ 家庭学習スタンダードを活用した望ましい学習習慣の確立
④ 高学年における一部教科担任制の導入

【豊かな人間性】互いに認め合える学級づくりに努めます。
① 望ましい人間関係を構築し、感性を育てる体験活動を充実させます。
・異学年交流と保幼小・小小・小中連携の充実
・学級経営の充実と自己肯定感の育成（よさや伸びを積極的に認め、ほめ励ます指導の継続）
・特別活動等体験活動の充実
②「考え、議論する道徳」の指導法を工夫し、道徳性を養います。
・道徳的な価値について考える道徳科の授業実践
・道徳科を要に学校教育全体で行う道徳的実践力の育成
③ いじめ･不登校の未然防止（いじめ防止基本方針の徹底）
④ 家庭と連携による、元気なあいさつと整理整頓の習慣化

【健康・体力】健康･安全の充実と基本的生活習慣の向上に努めます。
① 進んで体を動かし、体力･気力が向上するよう努めます。
・「めあて」がある教科体育と「運動身体づくりプログラム」の推進
・筋力及び筋持久力・持久力の向上を意識した運動の奨励
・運動する環境の整備と運動量の確保（児童期運動指針の活用）
② 心と体の健康を意識し、病気やけがの予防に努めます。
・家庭と連携した病気の予防や治療と「自分手帳」の活用
・学校医や学校薬剤師による「歯みがき指導」と「薬物乱用防止講座」
③ 栄養教諭等を活用した食育指導によるよりよい食習慣の育成
④ 防災･減災教育の推進と危機管理意識の向上（防災教育の継続）

図書館教育の充実（学習･情報センターとしても機能する学校図書館の整備）

立腰教育の推進　一日の学びに向かう集中力・静かで安定した心・正しい姿勢をつくる「やる気スイッチタイム」の継続

《評価指標》

○ 毎日家庭学習をする児童	９０％
○ 学力テスト　ポイントアップ	＋１ポイント
○ 授業がわかる児童	９０％
○ 話をしっかり聞くことができる児童	９０％

○ 学校が楽しい児童	９０％
○ 縦割り班活動の満足度	９０％
○ いじめ・不登校０に向けて	早期発見・早期解決
○ 返事と挨拶	９０％

○ 肥満傾向の前年比	－３％
○ 体力･運動能力調査のポイントアップ	全国平均以上
○ むし歯治療率	６０％
○ 朝食摂取率	１００％

地域に信頼される学校づくりの実現

《重点実践事項》

【特色ある教育活動の推進】
① 久之浜の自然・文化・産業・施設・人材等を生かした教育を推進し、ふるさと久之浜を調べ、話し合い、考えをまとめ、発表する力を育てます。
・１、２年：町探検　・３年：地域と福祉　・４年：地域と防災
・５年：地域と産業　・６年：環境とまちづくり（サポートチームの支援）
② 公民館と連携した地域人材の活用で、地域と共にある学校を目指します。
③ 幼・保・小・中の連携を指導に生かします。（学習･生活の情報交換）
・久之浜中学校区小中連携推進事業と隣接する幼保連携の充実

【教職員の資質向上】
① 不祥事の絶無
・服務倫理委員会の活性化
・同僚性の発揮
② 教職員の指導力向上
・一人一授業による校内研修の充実
・自己目標の意識化と定期面談の実施
③ 教職員の働き方改革の推進
・子どもに向き合う時間の確保

【安全･安心な学校づくり】
① 保護者･地域の声を聞き、開かれた、信頼される学校経営に努めます。
・保護者、地域からの情報の収集と学校評価の分析・改善
・「学校・学年だより」の発行、ＨＰの定期更新による積極的な情報発信
② 明るく安心･安全な教育環境の整備に努めます。
・学校支援ボランティア、PTA、交通安全母の会、関係機関等と連携した安全の確保と事故防止、及び学びの環境整備

《評価指標》

○ 「生活科」「くろしおタイム」の意欲と満足度　９０％
○ 公民館等関係機関との連携や地域人材を活用した授業の実施
○ 幼保小中連携事業の推進

○ 一人一授業研究の計画的で確実な実施
○ 教職員の不祥事ゼロ達成
○ 時間外勤務月４５時間未満

○ 定期的な「学校だより」「学年だより」の発行（月１回以上）
○ 学校支援ボランティアの積極的な活用（前年比以上）
○ 児童事故・学校事故発生ゼロ